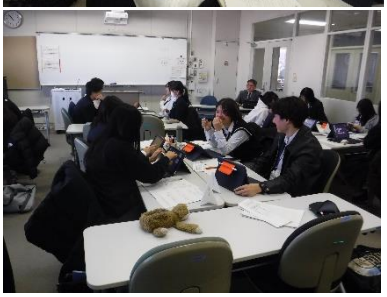
令和６年 12 月 22 日（日）≪午前≫
第 13 期Ａコース研修生　「日本の近現代史③」



本研修では「グローバル化と日本～戦後の復興から現在まで～」「日本の近現代史を学んで～学びからのさらなる展望～」について学びました。

研修生の事前課題は次のとおりです。

(1) ＮＨＫ高校講座 Ｅテレ日本史の、第 38 回「占領と国内改革」、第 39 回「国際社会への復帰と高度経済成長」、第 40 回「激変する世界と日本」を視聴する。

(2) 「グローバル化と日本～戦後の復興から現在まで～」及び「日本の近現代史を学んで～学びからのさらなる展望」についての講義動画を視聴する。

(3) (1)及び(2)の動画を踏まえ、次の事前課題１及び２について事前学習ワークシートにまとめる。

事前課題１
日本は戦後どのように復興し、経済成長を遂げたのか、さらに冷戦による国際関係の変化、経済のグローバル化、エネルギーや環境など地球的諸課題などについて、解決策も考えて整理してみよう。その際、留学先国のオーストラリア、ニュージーランドとの関係にも着目しながら、「自由・制限」、「平等・格差」、「開発・保全」、「統合・分化」、「対立・協調」などの観点を踏まえ、整理してみよう。さらにその取り上げた課題に対する日本の国際社会における役割や取組等について整理しよう。

事前課題２
第二次世界大戦後、経済成長をとげた我が国は日本国憲法の下、冷戦下及び冷戦後の国際社会において平和主義を掲げ、世界の諸課題の解決に取り組んできた。そして、今後はどのように取り組んでいくのか。このことについて、留学した際に出会う人々からどのような「問い」が出されるのかを考えてみよう。また、その「問い」に対してどのように説明するのか、「自由・制限」、「平等・格差」、「開発・保全」、「統合・分化」、「対立・協調」などの観点を踏まえ、考えてみよう。

事前学習ワークシートに基づき、研修生は各グループで熱心に協議しました。そして、各グループそれぞれでまとめたものについて、ＩＣＴを活用し、更に発表・協議を行いました。協議を通じ、今後の国際平和に向けた取組について知識や考えを深めました。

さらに、これまでの３回の研修を振り返って、留学時に問われるであろう「問い」とその「説明」について、研修生一人一人が深い更なる学びにつなげました。

全３回の「日本の近現代史」の講義を受講し終えた研修生は、「自国について考えを深められてよかった。」、「日本の近現代史と現在の国際社会問題について、同年代の高校生とディスカッションができてよかった。」、「歴史を学ぶことの重要性を理解することができて良かった。」、「講座を通して、改めて今の日本の国際社会における立場や役割について考えることができた。ゼミナール研究においても日本と海外の歴史を踏まえることで、自分の視点も広げて調べていきたい。」と感想を述べました。

令和６年 12 月 22 日（日）≪午後≫
第 13 期Ａコース研修生　「リーダーシップ⑥」

留学を約１か月後に控えた第 13 期Ａコースの研修生たちは、ロールモデルとの出会いや様々な種類のワークショップなどを通して、リーダーシップとは何かを体感的に理解し、自分の目標や未来の夢などを言語化しました。次世代リーダーとなるべく頑張っている研修生たち一人一人が、自分の志をもって留学に挑戦し、留学先でより広い視野をもち、自己の成長のみならず、未来への貢献をも意識しながら行動することができるリーダーとして育成することを目指しています。

今回の研修のテーマは「自分のリーダーシップを実践する」です。５～６人程度の小グループに分かれて、留学生ゲスト１名（日本で暮らす外国人の留学生や社会人）をお招きし、お互いに自己紹介をしました。次に、次世代リーダーとは何か、また何を目指してこのプログラムに参加しているのか、更には次世代リーダーとしてどんな未来を描き、解決すべき地球・社会の課題は何かという高度な内容についても、一人一人が英語で熱心に自分の思いや考えを説明しました。

その後、留学生ゲストから、日本に来てからの生活を中心にストーリーを聞かせてもらい、留学生ゲストがどのような世界を目指しているのか、それを実現するためのミッションとしてどのような活動をしているのかなどを語ってもらいました。

続いて、チームごとに「より良い未来を創るための５つのアクション」をテーマに、研修生はどのような未来を望んでいるかを共有し、その実現を目指しての対話を行いました。最終的に、その実現のために自分たちができることを５つのアクションにまとめました。

留学生をゲストに迎えた国際交流の場では、自らのリーダーシップを発揮しながら交流することができました。ゲストの人生の物語や日本に来てからのエピソードを聴きながら、異なる価値観や文化背景をもつゲストたちがどのような挑戦をこれまでしてきたかを聴く良い機会になりました。全６回にわたるリーダーシップ研修も、今回で最終回でした。リーダーシップ研修を通じて学んだことを、留学先でも更に深め、実践していってほしいと思います。